昭和４０年４月５日第三種郵便物認可
（旧「公衆衛生」）

２０１２年６月１５日発行
第５６４号（通算）
発行：偶数月１５日
会員購読料：１月１０円(年間６０円)
一般購読は別途送料

環境保健・生活科学・コミュニティ活動の総合情報紙

環境と健康

発行者
HIROSHIMA ENVIRONMENT & HEALTH ASSOCIATION
財団法人 広島県環境保健協会
近光　章
広島市中区広瀬北町９番１号
郵便番号　７３０−８６３１
電話　０８２−２９３−１５１１番
振替口座０１３８０−２−２７５１１
URL　http://www.kanhokyo.or.jp/

地域全体の健康増進を目指して

定期健診で疾病、がんを早期発見

環保協健康クリニック

平成24年度公衛協ドックを新設

当協会は、戦後の伝染病が蔓延する劣悪な衛生環境の改善のために立ち上がった県内各地域の住民自治組織「公衆衛生推進協議会」（以下、「公衛協」）を母体として、五十年余りにわたり、コミュニティが抱える健康、生活及び環境の各分野における多くの課題に対して地域住民と手を携え、実践活動を通じて解決に努めてきました。

健康を守ることは、私たちにとって最も大切なことの一つに数えられます。最近では、一次予防（健康増進）と二次予防（疾病早期発見）のみならず生活環境・社会環境まで含むゼロ次予防が課題となっています。私たち健康クリニックでは、これまでの三十有余年の間に培ったノウハウを存分に活かし、市町・支部・地区・学区公衆衛生推進協議会とともに、各地域におけるさらなる予防医療の促進と、今日的課題であるがん検診の受診率向上を目指し、公衛協ドック（公衛協向けの人間ドック）を新たに提案いたします。

今回の「公衛協ドック」は、市町・支部・地区・学区公衛協会及び地元住民を対象に、平成二十五年、当協会健康クリニック（広島市中区広瀬北町九番一号）で実施します。

また、「公衛協ドック」を受診される方には、いろいろな特典も用意しています。ぜひこの機会に、自己の健康を問い直していただきたいと思います。ひいては地域全体の健康増進へと結びつけたいと願っております。

（健康クリニック診療所長　青木 陽一郎）

自然光を取り入れ、明るく広い待合室。大窓からは、すぐ隣を流れる天満川が臨め、遊歩道の木々などを楽しむことができる（上）。確かな技術を持ったスタッフが応対いたします。待合室に隣接するナースカウンター（中）、胃部レントゲン撮影（下）

たくさんの特典付き健診

昨今、日本健康21や健康ひろしま21など健診を促す国や県の事業が盛んに展開されています。これは、定期的に健診を受けることで、健康状態の確認や、疾病を早期発見し、手遅れになる前に処置を行うことで、自身の健康を自らで守りましょうというもの。

当協会では、公衛協推進委員はもとより、地域住民が一帯となって定期的な健診を受診することで、健康な地域コミュニティ形成の一助になると考え、この度『公衛協ドック』を実施することにしました。

公衛協ドックは、平成二十四年七月から十一月の期間中に募集・スケジュール調整を行い、翌年一月から四月にドックを実施します。予定人数は四百人で、市町・支部・地区・学区公衛協及び地元住民を対象といたします。

多くの方に受診いただけるよう、次のような受診者特典も設けております。

①腹部エコー検査の実施
②男性は、PSA（前立腺がん検査）、女性は骨密度測定を実施
③往復の交通手段の手配・交通費（チャーターバス代）を当協会が負担
④昼食（お弁当）を提供
⑤健診料金は一万八千円／人（定価より一万三百五十円／人割引）

と、体と財布に優しいプランとなっています。また、健診当日、データにもとづき医師から詳細診察を受けることもできます。

申込みは、市町公衛協事務局が窓口となり、実施要件は、「一日二十人以上の参加者があること」です。

当協会の健康クリニックは、経験豊かな専門スタッフはもちろん、自然光が差し込み明るく開放感ある待合室の大窓から、隣を流れる天満川沿いの自然を楽しめ、リラックスして受診いただける環境を整えております。

ぜひ、この機会を自身の健康を見つめなおすきっかけとして捉え、公衛協ドックを受診ください。

（健康クリニック）

●公衛協ドックの健診内容●

1．血液検査
2．肝機能検査
3．生活習慣病検査
4．腎機能検査
5．消化器系検査
6．呼吸器系検査
7．一般検査
8．問診・診察
＋受診特典

琴線歌（きんせんか）

‖今夏の節電対策‖ あなたの会社を丸ごと診断

昨年発生した大震災以降、被災地のみならず全国規模での電力をはじめとするエネルギー供給システムの脆弱性が極めて大きな課題となっています。五月十八日（金）に政府から今夏の電力需給見通しとそれを踏まえた節電対策の方針が示されたところであります。中国電力㈱の今夏の電力需給は、猛暑であった二〇一〇年夏に比べてマイナス五％以上を目標に節電に取り組むことが決定され、同社においても日常生活や経済活動に極力影響を及ぼさない範囲でより節電が図られるよう一層のPR展開を進めることとなっています▼このような中、一般財団法人省エネルギーセンターでは、本年夏季の電力需給対策の一環として、経済産業省の補助事業として従前から推進している『無料省エネ診断サービス』に加えて本年度の新規事業としてビル・工場の『無料節電診断サービス』を実施しています。原則として五十ｋW以上の高圧電力等の契約者の工場・ビルの施設を対象に当センターが委嘱している電気の専門家を派遣して、ピーク電力削減など節電行動をサポートする診断サービスです。夏季の電力需給対策を考慮し、五～八月上旬の間、集中的に実施するものです。是非ご活用下さい▼この他、当センターでは、①産業における省エネの推進、②家庭・地域における省エネの推進、③最新の省エネ技術を習得するための技術講座・講演会の開催による人材育成支援、④省エネ法に基づく国家試験、研修及び講習の実施⑤会員に対するタイムリーな情報提供の五本柱をメインに重点かつ戦略的に事業を推進しています。詳しくは、当センターのHPにアクセス又はお気軽にご照会・ご活用下さい。

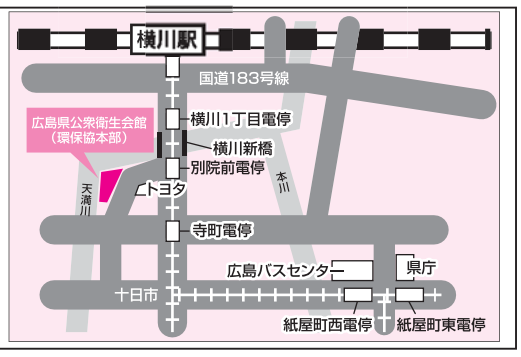
（一般財団法人　省エネルギーセンター　中国支部　事務局長　湯浅憲義）

環境と保健の未来（あす）をめざして

財団法人 広島県環境保健協会

〒730-8631 広島市中区広瀬北町９番１号（広島県公衆衛生会館）
TEL:082(293)1511 ［大代表］
FAX:082(293)1520

かんほきょう　検索



平成24年度重点メニュー紹介

全県でチェック事業の実践率向上へ

平成二十四年度がスタートし、公衛協事業も続々と始まる時節だろう。今年度、環保協地域活動支援センターでは、公衛協を対象に、四つの全県共通事業重点メニューを推奨していく。重点メニューとは、市町公衛協単位だけでなく支部・地区・学区公衛協でも実践できるプログラムであり、積極的に地域の公衆衛生活動に取り入れていただきたい事業だ。なお、写真のグッズなどは、健康感謝募金環保協配分金の一部を充てて作成しているので、これらを活用することで募金事業への理解を促すことにも繋げていただきたい。

◆　◆

【一万人のエコチェック事業】

県内の推進委員が各家庭で省エネにと取り組み、その効果を数値的に把握＝『見える化』する事業。平成二十三年度は二十六市町公衛協のうち、二十五市町公衛協が参加し、まさしく全県で取り組む事業となった。今年度は、新たに軽油と灯油の記入欄を設けるなど、地域の取り組みに対応したカードに更新している。

推進委員自ら率先して省エネ活動に取り組んでもらおうと始めた事業だが、昨年度の実践率は二十六％で、一昨年度の二十三％から伸び悩んでいる。そこで、今年度は〝推進委員の実践率五十％以上〟を目標に掲げて推進する。

なお、恒例となった広島県公衆衛生大会の「おたのしみ抽選会」では、新たに、実践率や省エネ効果が高かった公衛協に特別賞を用意する予定。ぜひ、推進委員同士で声を掛け合い、省エネ活動を実践し、カード回収率の向上につなげていただきたい。

【広島発・瀬戸内海美化大作戦】

「瀬戸内海」をキーワードに、山・川・海のつながりを見直し、次世代に住みよい環境を残すこと、継続して自然の恩恵を享受できる環境を維持することを目的にした事業で、今年度で二年目の実施となる。事業内容は、「地域清掃・美化」「水質改善・保全」「里地・里山づくり」の三つのテーマに区分され、公衛協が主体となり、一斉清掃や水辺教室、家庭排水学習、不法投棄撲滅運動などを展開し、市・町の環境づくりの動機付け、習慣付けにつながるように工夫して実施する。

事業申請毎にテーマに合った活動支援グッズを提供しているので、事業成果が期待できるグッズを選択して、活用してほしい。

また、今年度は事業ごとの活動記録（写真やごみの量、水質状況など）を蓄積し、広く住民に公表して、公衛協活動の理解・協力を広めることを目指す。

【一万人の食チェック事業】

健康を維持するため、毎日三食、バランスの良い食生活を送ることは大切な要素である。食品数が少なすぎると栄養が不足し、反対に食べ過ぎると肥満やメタボリックシンドロームを招きかねない。

この事業は、県内の推進委員自らが食習慣の現状を把握し、健康づくりにつなげるための活動である。強化期間に定める六月十九日から二十五日の一週間、一斉に毎日の食品数を数え、所定のカードに記録する。また、毎月十九日（食育の日）を定例チェックデーとし、定期的に公衆衛生推進手帖に記録することも併せて推進する。

取り組みを開始した昨年度は、十八公衛協が参加し、実践率は十六％（実践者千四百五十七人）であった。今年度は、事業の目的を整理し、実践公衛協の増加と実践率の向上により全県的な取り組みへと展開していきたい。七月十二日～十三日に行う「環境保健夏季大学」の「食チェック事業おたのしみ抽選会」など、遊び心を交えながら、健康づくりの一助となるよう、本事業を推進する。

【公衛協発ウォーキング事業】

最も身近で取り組みやすい運動、それがウォーキングである。ウォーキングは、体力づくりに加え、歩く中で目や耳から情報を受け取ることで脳が活性化すること、また、気分がリフレッシュするなどの効能が研究で判明している。

この事業では、公衛協が主催、もしくは他団体と協力し、健康づくりに有用なウォーキング事業を実施するもの。事業の中に、地域の「環境点検」を取り入れ、公衛協のPRとして活動紹介を行うなどの〝ひと工夫〟が事業成功の鍵である。ごみステーションの点検をコースに取り入れる、環境施設の見学とウォーキングを組み合わるなど工夫はさまざまだ。

こうした環境点検ウォークの実施は県内に広がっており、平成二十三年度は二十一公衛協が実施した。なお、実施公衛協へは、スタッフ用ナップサックと歩数計を提供するほか、必要に応じてベスト・腕章・ロードカウンターの貸し出しを行う。健康づくりのきっかけとして、アイデアを凝らしたウォーキングを進めていきたい。

◆　◆

＊事業の申請・報告等の様式は、環保協ホームページ http://www.kanhokyo.or.jp/ からダウンロードが可能。問い合わせ先　地域活動支援センター

江田島市大柿町で実施された、地区内のごみステーションを見て回るウォーキング（上）。ウォーキング支援グッズのナップサック（左下）、ロードカウンター（右下）

○ 広島発・瀬戸内海美化大作戦 ○

倉橋町で開催された桂浜の清掃活動。公衛協を始めさまざまな団体が主体となり浜を守っている（右上）。平成24年度の地域清掃・美化の啓発のぼり（左上）。水質保全・改善の支援グッズの油吸着材（右下）

環保協脱温暖化推進計画

CO2排出量の削減めざし空調改修

社会の一員として積極的に脱温暖化を

当協会は、平成二十二年三月に「脱温暖化推進計画」を施行して以来、電気・ガス・ガソリン・重油などの消費によって排出されるCO2の排出量削減に取り組んでいます。計画では、二十四年度までに基準年とした二十年度のCO2排出量から一〇％削減することを目標に掲げています。

目標を達成するためには、役職員個々の取り組みだけでは限界があるため、設備の改修や省エネ性能に優れた資材の導入などを積極的に進めています。昨年度は、四台の公用車を低公害車に更新したほか、事務室へのLED照明の導入や日差しが強い場所の窓に遮熱フィルムを施しました。

さらに、国の補助金を活用して、熱源を重油としていた一部の空調設備を電気式の省エネ型空調機に改修。これによって、CO2排出量の大幅な削減を見込んでいます。

当協会が、昨年度排出したCO2排出量は、約一七〇八トンで基準年に比べて〇・九％増加しました。しかし、昨年度の取り組みが下期に集中したこともあり、その成果は計画の最終年度である今年度に表れると試算しています。

先日、政府は、エネルギー・環境会議の合同会合において、企業や家庭に七月から約三カ月間の節電を求める電力の需給対策を決めました。これは、東京電力福島第一原発事故が発端となり、猛暑になった場合に慢性的な電力不足に陥ることを防ぐためのものです。中国電力管内においては、二〇一〇年夏に比べ、マイナス五％以上の節電に取り組むことが決定されました。中国電力では、節電意識が定着しているとの見解から、今夏の追加的な節電目標を二・五％程度としています。

当協会においては、昨年度に引き続き、空調設備改修やLED照明の導入、始業前の消灯などを通して節電に取り組むとともに、これからも社会の一員として、積極的に脱温暖化に貢献していきたいと考えています。（総務課）

蛍光灯照明をLED照明に変更

公衛協基礎研修　講師派遣いたします

公衛協が主催する基礎研修に環保協から講師を派遣します。公衆衛生推進委員の任務や活動の進め方、健康感謝募金について理解を促します。

期　　間：４月～８月末日
対　　象：市町公衛協及び支部・地区・学区公衛協
研修内容：「2012公衆衛生推進手帖」を使用した地区衛生組織活動概論
　　市町公衛協の活動テーマに沿った学習　など
経　　費：派遣する講師及び講師が使用する資料に係る経費は環保協が負担し、その他経費は公衛協の負担とする。
申込方法：申込書に必要事項を記入の上、原則として１週間前までに、環保協地域活動支援センターへ提出する。

まずは電話にて
ご相談ください

財団法人広島県環境保健協会　地域活動支援センター　電話：082-293-1512　ＵＲＬ：http://www.kanhokyo.or.jp/

地域活動支援基金活用事業

助成事業６事業が決定

ポスター・標語は展示や広報を強化

◆環境と健康のコミュニティ活動助成事業◆

これまでは「導入型」、「発展型」の二部門で実施してきた。

今年度は、継続事業を支援する新たな部門を設け、「導入型」、「発展型」、「広域型」の三部門とした。「導入型」は新規に取り組む活動に限定、「発展型」は課題改善や工夫のみられる継続事業を対象とし、「広域型」は従来定義してきた発展型の名称を改めた。

募集の結果、導入型一件、発展型三件、広域型二件の申請があり、五月二十四日に開催した第二回地域活動支援基金運用委員会で審査した結果、一部の団体は『計画のさらなる具体化が必要』などの付帯条件が付いたものの、申請のあった六事業すべてが採択された。

【導入型】助成額一律十万円
『河手川美化活動』（福山市赤坂学区公衛協）

【発展型】助成額一律十万円
『歩いて健康づくりウォーキング見直し事業』（竹原市公衛協）

昨年の助成事業、福山市公衛協の各学区で脱温暖化出前講座開催（上）、環境啓発ポスターの第二次審査会（左）

『北広島町笑顔で取り組む脱温暖化のまちづくり事業』（北広島町公衛協）

『学社融合」ゴーヤカーテンで温暖化を防せゴーヤ！パートII』（福山市泉学区公衛協）

【広域型】助成額＝三十万円
『公衛協フォーラム』（大崎上島町公衛協）

助成額＝五十万円
『公衛協コマーシャル事業』（世羅町公衛協）

◆環境啓発ポスター・標語コンクール事業◆

小・中学生から「地球温暖化を防ごう」をテーマにポスター及び標語の作品を募集するもので、今年度は二十公衛協の参加が得られた。広島県内から集まってくる作品は、当協会の選考委員会で第二次審査を行った後、部門別に入賞作品を決定。最優秀賞の受賞者は、十一月一日の第五十三回広島県公衆衛生大会の席上に招待し、表彰する運びとなる。

今年度は新たに、集まった作品を広く地域の方に広報することを目的とした活動に対し助成する。この「事後フォロー活動への助成」は、申請のあった公衛協に対し、一律三万円を交付し、集まった作品数に応じて加算する。加算額は、応募点数一点につき五十～九十円となる見込みで、より多くの作品が集まるよう呼びかけていただきたい。

なお、助成対象となる経費は、集まった作品を活用し、地域の方々に広報することを目的とした活動が対象となるため、事前に活動計画書の提出を求めるほか、助成できる費目も限られる。申請時には、いま一度実施要領等を確認いただきたい。入選作品は、大会の会場にて掲示するほか、当協会ホームページや情報紙等でも公開する予定。

◆市町公衛協事務局活性化事業◆

事務局員の人件費助成、また力量形成のための各種研修を開催する。今年度は、事業継続の四公衛協に加え、新たに東広島市から申請があった。六月六日の基本研修を皮切りに、年間を通じた知識習得と企画づくり等の実習を行っていく。

事業を推進してきた過去四年間で、機能リーダーが会長、また事務局長に就任するなどの実績もある。今年度も公衛協の円滑な体制づくりに寄与すべく推進していく。

（地域活動支援センター）

当協会では、地区衛生組織の実践活動を支援するために積み立てた地域活動支援基金を、三つの事業で活用している。実践活動を資金的に支援する「環境と健康のコミュニティ活動助成事業」、学社融合の取組促進をねらいとした「環境啓発ポスター・標語コンクール事業」、公衛協事務局員や機能リーダーの育成を行い、組織の活性化をめざす「市町公衛協事務局活性化事業」である。

市町公衛協事務局活性化事業の指定研修会。所属公衛協についてプレゼンテーションを実施（上）、広報ツールづくりの研修では、どのように公衛協をＰＲするかを企画した（右）

ライフスタイルを見直し、省エネをすすめよう

中国電力管内は５％以上の節電目標

ひろしま環境の日のロゴマーク

昨年の東日本大震災以降、全国的に電力不足のおそれがある中、現在、国において、エネルギー政策見直しの議論が行われています。一方で、火力発電の稼動増加による温室効果ガスの増加も懸念されています。

こうした課題を解決するためには、環境への負荷が少なく、地域に広く存在する太陽光などの再生可能エネルギーの一層の普及拡大が望まれるとともに、エネルギーを消費する側としても、普段から効率的にエネルギーを使用する努力が求められています。

このため、県では、県民のエコ意識を高め、具体的な行動に結びつけていただくため、毎月第一土曜日を「ひろしま環境の日」と定めました。また、さらなるエコ活動を促すため、昨年６月から、環境配慮実践行動に取り組む企業・学校・団体等の「行動宣言」を募集する事業に取り組んでおり、現在までに451団体に登録していただいています。

県としても、「ひろしま環境の日」行動宣言の登録事業者として、「新たな省エネ対策」を進めており、県庁本庁舎の電力使用量10%削減などの数値目標を定め、昼休憩の消灯、パソコン待機電力の削減などの省エネ活動に取り組み、本庁舎の電力使用量を平成22年度比13.5%削減などの成果を挙げています。

宣言の一例

・冷暖房を適温に設定します！
　→冷房28度程度、暖房20度程度
・エコドライブに努めます！
　→アイドリングストップなど
・エコ製品を選んで購入します！
　→エコマーク製品、省エネ製品など

みなさまも一度検索してみてください
「ひろしま環境の日」行動宣言　検索

中国電力㈱管内では、先月、今夏の電力需給対策として、５％以上の節電目標が設定されていますが、県としても引き続き率先して、夏場の軽装、空調・照明・パソコン等の節電などの省エネ対策を実践していきます。

皆様におかれましても、職場・家庭など、できるところから省エネに取り組んでいただくとともに、こうした取組みを広げてくださるようご協力をお願いいたします。

（広島県環境政策課）

人間ドックオプション検査　元気で長生きするための新しいドック（お申し込みはお早めに！）

アンチエイジングドック
フリーラジカル（活性酸素）をはじめ、血管年齢、ホルモン年齢、骨年齢、体力年齢、肺年齢、認知症の有無、腎能力を総合的に把握し、いつまでも若さを保つ、老化予防の知恵をアドバイス。
料金：５２,５００円

動脈硬化ドック
動脈硬化に焦点を当てた働き盛りの方へのオプション。
感化ストレスのマーカー、動脈硬化のマーカー、ＭＣ－ファン、頚動脈エコー検査、脈波検査を実施。
料金：２５,０００円

更年期ドック
ホルモン検査による更年期の判定、および骨粗しょう症検査を行います。
性ホルモン（ＦＳＨ、エストラジオール）超音波骨密度検査。
※対象：女性のみ
料金：７,５００円

＊その他、会員制ＰＥＴドック、政管・健保ドック、特定健診を実施できます。詳細はお気軽にお問い合わせください。

財団法人広島県環境保健協会
健康クリニック
〒730-8631　広島市中区広瀬北町9-1
TEL 082-232-4857　FAX 082-293-2214

七塚四季の環境学習

②初夏の山野草を楽しむ

感じた自然を歌に表現してみよう

植物から万葉人の心をよむ

万葉集には、百五十種前後の植物が歌に詠まれています。その半分の八十種くらいの植物が、七塚原高原に現にあります。高原の家七塚の自然観察コースには「万葉の森」という看板が付けてあります。そして五十種類の万葉植物（木本）に説明板を掛けました。万葉の歌とその歴史的背景などを書いています。あと三十種類の万葉植物は、草本ですから説明板を掛けることができませんが、この季節には姿を見ることができます。

万葉の歌は、詠み人の心を想像するには植物の見頃に出合うことがよいと思います。現実には満開の花とか、たわわに実をつけた姿とか、美しい新芽に出くわすのは難しいです。しかし、今はどの植物も勢いよく成長していますので美しさとエネルギーを感じます。

今の時期、美しい花を付けている万葉植物は、ツユクサ、スミレ、エゴノキ、アセビ、ショウブ、ホオノキ、ネムノキでしょうか。もちろん、万葉人が歌に残していない花もたくさん咲いています。そんな観察コースの中で、私が万葉植物にこだわる理由は次の理由から。

①一億二千万の人々が見る日本の植物と、六百万人（万葉時代の人口）の人々が見た日本の植物には、どんな違いがあるのか。

②植物の中に、植物と共に生きた万葉人の植物観と私たちの植物観とはどこが違うのか。

③万葉人が見たのと同じ植物を今も残してくれている悠久の自然に対する感謝の心を育みたい。

④自然のすばらしさに出合ったら、その心の内を歌に表現してほしいから。

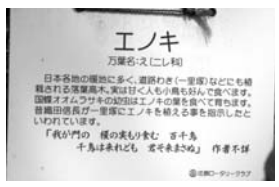
みなさまも自然観察をする際に、これらのことを思ってみてください。

〈ツユクサ〉朝咲き　夕は消ぬる鴨頭草の　消ぬ恋もわれはするかも　作者不詳

〈スミレ〉春の野に　すみれ摘みにと来しわれそ　野をなつかしみ一夜寝にける　山部赤人

〈エゴノキ〉息の緒に　思へるわれを山ぢさの　花にか君が移ろひぬらむ　作者不詳

（NPO法人七塚原自然体験活動研究センター　理事長　西村　清巳）



万葉の森の立看板（右上）、**万葉植物に掛かる説明板**（左上）、**この時期に美しい万葉植物スミレ**（左中）、**エゴノキ**（左下）、**ウワミズザクラ**（右下）

データで見る　広島県の　気象変動

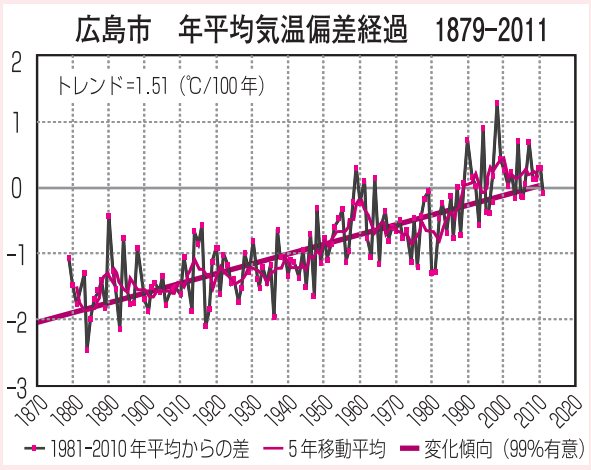
② 気温の長期変化

広島県でも温暖化進む

都市部では影響が強く現れる

第二回目は、広島県内で長期間にわたって蓄えられている気温のデータを紹介しながら、広島県の気候がどのように変化しているのかをお話しします。

下図は、広島市の年ごとの平均気温の経年変化を示しています。広島市では百年あたり一・五一度の割合で上昇しています。特に一九九〇年代から二〇〇〇年にかけては、大きなピークが見られます。



百年間の変動からわかるとおり、広島市も地球規模で起きている、二酸化炭素等の温室効果ガス濃度の上昇を起因とする地球温暖化の影響を受けているのです。

一・五一度の上昇は、日本の年平均気温の上昇一・一五℃より大きな値です。これにはどういう意味があるのでしょうか。

日本の年平均気温は、長期的な変動を見積るために、都市化の影響が少ない全国十七地点を選んで計算しており、広島市は含まれていません。気温の変動には、地球温暖化の影響や、数年～数十年程度の時間規模で繰り返される自然変動が重なっていますが、広島市の場合にはさらに都市化の影響が強く表れていると考えられます。

近畿・中国・四国地方の大都市をみると、やはり日本の平均気温上昇率より高く、都市化の影響が表れています。中でも、大阪と京都の上昇率が大きくなっています。広島県の広島市、呉市、福山市のここ五〇年間（統計期間一九六一年～二〇一〇年）の気温上昇の値を比較してみると、広島市一・二九℃、呉市一・一七℃、福山市一・五九℃上昇しています。これをみると、広島県内では、広島市に都市化の影響が一番表れていると言えそうです。

過去百年の気温上昇率でこのまま気温上昇が続くと、百年後には、広島市の平均気温（一六・三℃）が十八℃近くになります。これは百年後の広島市の気候が、現在の高知県土佐清水市あたりの気候（平均気温十八・二℃）になることを意味します。土佐清水市と言えば、私たち広島県人にとってかなり南国のイメージですよね。このまま温暖化が進むと、広島でとれる作物や魚介類にも変化がみられるかもしれません。

（広島地方気象台観測予報課　岡﨑賢治）

環境と健康の学習ルーム

貸し出しグッズ紹介

① 利用の仕方とワットアワーメーター

当協会では、各地域で行われるイベントや学習会などで活用いただけるよう、「環境と健康の学習ルーム」でさまざまなグッズを貸し出しています。

このシリーズでは、人気グッズを紹介する他、各地域で活動する際に役立てていただいたり、オリジナルの活用方法を探るヒントにしていただけるよう、活用事例や利用者の声を紹介していきます。

1回目は、貸し出しているグッズの紹介と貸し出しの流れ、〝省エネ〟意識を高めるのにお勧めのグッズを紹介します。

貸し出しているグッズは、大きく分けて『環境』と『健康』のテーマに分けられます。『環境』分野では、温暖化に関するパネル・紙芝居・DVD・体験型実験機のほか、ごみ問題に関するパネルやゲームカード、自然エネルギー体験キットなどがあります。『健康』分野では、タバコの害に関するパネル・紙芝居・ビデオのほか、ウォーキング事業をPRするベストや腕章などを揃えています。詳しくは、当協会のホームページをご覧ください。（URL：http://www.kanhokyo.or.jp/）

また、貸し出しの流れは次のとおりです。

①利用したいグッズの空き状況を電話で確認
②借用申込書を提出
③グッズ貸し出し
④グッズを利用し、返却
⑤利用報告書を提出

イベントや学習会などで活用を！

今後の活動に取り入れて

なお、貸し出しは無料です。貸し出し期間は原則2週間、貸し出しおよび返却は当協会もしくは東部支所（福山市）で行います。（宅配でも対応可。※別途相談ください）

それでは、活用事例とともに、お勧めのグッズを紹介します。

◆ワットアワーメーター

家電製品のプラグを本体に接続し、本体を家庭のコンセントに差し込むだけで、瞬時に消費電力量や電気料金、CO_2排出量、待機電力量などが計測・表示できるグッズです。

～活用事例～

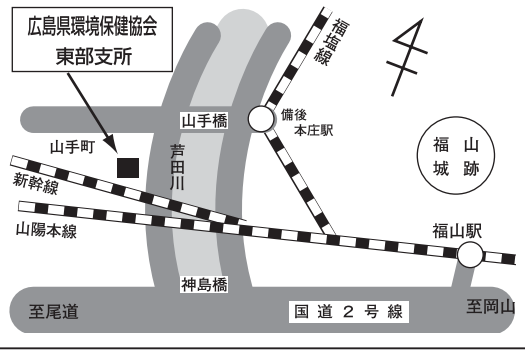
福山市道上学区公衆衛生推進委員会では、学区内の三十二世帯が各家庭のテレビやパソコンなどの〝待機電力〟を測定し、調査票に記録する事業で使用。

〝待機電力〟の実態を体感し、省エネタップを活用したり、こまめにプラグを抜くようになるなど、意識啓発だけでなく、省エネ行動を促すのに役立った。

今後も、活用事例を交えながらさまざまなグッズを紹介していきます。

（地域活動支援センター）

東部地区の検査受付は、支所でも行います！



食品検査・衛生検査・飲料水検査・環境検査など

【受付時間】月曜日から木曜日　8:30～17：30

財団法人　広島県環境保健協会
東　部　支　所
〒720-0092　福山市山手町5-32-26
TEL　084-952-0007
FAX　084-952-0009

春夏秋冬 里山 里海を楽しむ

⑤ 昆虫採集・危険な生き物

ふかふか腐葉土カブトムシベッド

子どもと楽しむイベントづくり

標本を作ったりと楽しみ方はたくさんあり、多くの方が昆虫の強さや美しさ、多様性に魅了されています。その中でも、特に子どもたちの心をつかみ、夢中にさせる昆虫の王様といえば「カブトムシ」です。

山林を駆け巡り、地面を掘り、幼虫を見つけて育てたり、目星をつけた木にわなを仕掛け、大物がやって来るのを心待ちにした記憶が思い出されます。今回は人気のあるカブトムシを取り上げて、里山整備をしながら採集を楽しむアイディアをご紹介します。

準備するものは、ベニア板、杭、落ち葉。

まず、カブトムシが食事をするクヌギ、コナラ、カシ、クリの木を探します。次に樹木を中心に、ベニア板で囲いを作ります。そして、できた囲いの中に、周りから落ち葉を集めて投入し、ふかふか腐葉土と落ち葉ベッドを作ります。

これで下準備は完了です。あとは、成虫がやって来て自然に産卵するのを待ちましょう。掘れば幼虫が、待てば成虫の姿を楽しむことができるようになります。里山の清掃や森林整備などのイベントをする際のお楽しみプログラムになるはずです。

【昆虫採集】

昆虫採集は、とても簡単に始められる趣味の一つ。子どもの頃に、畑や田んぼでチョウやトンボを捕まえて遊んだ経験は、大抵の方がお持ちでしょう。

ひとくちに昆虫採集といっても、捕まえる楽しさもありますが、飼育に挑戦したり、標本を作ったりと楽しみ方はたくさんあり、多くの方が昆虫の強さや美しさ、多様性に魅了されています。その中でも、特に子どもたちの心をつかみ、夢中にさせる昆虫の王様といえば「カブトムシ」です。

カブトムシベッドの作り方

1. カブトムシベッドを設置する場所を探します。クヌギ、コナラ、カシ、クリの木を探しましょう。
2. ❶の木を中心に1m²程度の面積が取れるように、地面に杭を打ち、板を張ります。
3. できた囲いの中に、腐葉土や落ち葉を入れると完成です。

カブトムシベッド（せら夢公園より写真提供）

【危険な生き物】

桜の花見を皮切りに、キャンプ場や川辺などでの屋外バーベキュー、新緑の山々を楽しむハイキング、地域やサークルのイベントなど、里山に触れ合う機会が多くなります。楽しいレクリエーションを無事に終了させるため、春から秋にかけて里山で注意したい危険な生きものを取り上げます。

○ハチ（スズメバチ・アシナガバチ）

「巣に近づかず、ハチを刺激しない」が大原則。出会った場合、姿勢を低くしてその場から速やかに離れましょう。威嚇や攻撃を受けたときも、手で払ったり大声で騒ぐことは禁物です。

ハチに刺された経験のある方はアナフィラキシーショックを起こすことがあり、生命の危険があります。予防策としては、ハチは黒色や強い香りに反応するので、服装を白色系にし、香水を控えるなどが効果的です。また、避けられない場合は、専用の殺虫剤を使用するのもよいでしょう。

○ヘビ（マムシ）

毒ヘビに咬まれた場合、治療には血清が必要です。毒の種類ごとに血清も異なるため、蛇の特徴を覚えておきましょう。毒がない場合も、咬まれれば細菌等で感染症を引き起こす場合があります。予防策は、棒などで先払いするように地面を叩きます。たいていは驚いて蛇が逃げますが、毒蛇は身構えることもあります。いずれにしても、蛇に動きがあるので発見が容易になります。

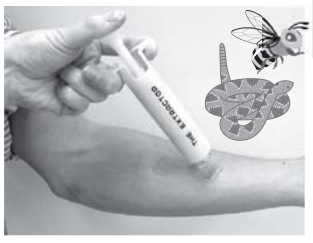
刺されたり、噛まれた場合は、患者を安静にし、速やかに医療機関に相談・受診してください。応急処置として毒を吸い出したり、洗い流す処置が有効です。アウトドア用品店で毒や虫刺され用の吸引器（ポイズンリムーバー）が販売されていますので、救急用品セットに加えておきましょう。

ハチやヘビに出くわせば、楽しい雰囲気は一気に吹き飛んでしまいます。参加者の安全を守るために、万一の際にどこに行けば治療ができるか、目撃情報は無いかを調べておくことです。役場や利用施設に事前に連絡を入れて確認しておきましょう。

（地域活動支援センター　馬場田　真一）

事前確認でリスク軽減

ハチ・ヘビに備える



ハチや蛇の毒を吸い出すポイズンリムーバー

公衛協 ア・ラ・モード

④ 福山市高島学区公衛協

【3年間の組織づくり】

海辺と温暖化のスクールキャラバン

メニュー強化で活動周知

福山市高島学区公衛協は、芦田川河口に位置し、身近に海と川、そして里山が広がる自然豊かな地区である。さかのぼること四年前、会長に就任した土井下氏は、学区の公衛協活動を盛り上げようと、当協会が主催するさまざまな研修に参加し、三年プランで高島学区公衛協ならではの活動メニューや、活動協力者の発掘・養成を企画した。

平成二十四年度は、三年プランの最終年度。この間、公衛協では、地元を愛し、知り、守る人材を将来に残したいという思いから、地域と学校が協働で学びを支援する「スクールキャラバン事業」を高島小学校と共に進めてきた。

一年生・二年生向けには、「海辺教室」を実施し、五年生・六年生向けには、「温暖化学習」を実施している。

海辺教室では、事前に推進委員や教職員が生きものを採取し、天候に左右されることなく、理科室で実施するよう工夫している。児童もよく知る海辺なので、写真を見ながら現場をイメージする。そして、図書館の図鑑で、一緒に名前を調べたり、生き物の特性を活かした実験をする。こうした一連の流れができあがっている。

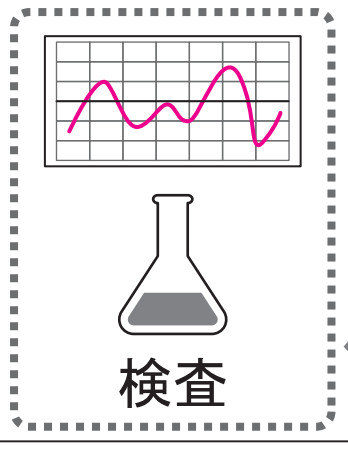
温暖化学習では、学校で取り組んでいたグリーンカーテンを素材として活用している。児童は温度計を片手に、グリーンカーテンの内側と外側はもちろん、カーテンのある部屋、グラウンドや木陰など、校内のさまざまな場所で温度を計測してグラフを作成し、その効果と温暖化問題について学ぶ。今年度の工夫として、一定の期間連続して温度を測定するなかで、グリーンカーテンと農業で使用する遮光シートの効果の違いを実験するなど、新たなアイデアが盛んに検討されている。

高島学区公衛協では、会長が交代した現在でも、学校と協力し、海辺と脱温暖化の事業を展開している。今後も学区公衛協とこの事業の発展に期待している。

（地域活動支援センター）

生きものを事前に採取し、海辺教室を理科室で開催（上）、校長室や教室の温度を測定し比べた温暖化教室（下）

1・2年生を対象に行った海辺教室、各班での生きもの調べ



水質検査のご案内

井戸水・山水などを安心してお飲みになりたい方へ

広島県では、
一年に１回水質検査を
行うことを推奨しています。

検査項目・搬入方法等詳細についてはお気軽にお電話ください　☎ 082-293-0163

HIROSHIMA ENVIRONMENT & HEALTH ASSOCIATION
財団法人 広島県環境保健協会
（水道法に基づく厚生労働大臣登録検査機関）
広島市中区広瀬北町９番１号

迅速な分析結果を提供

24時間365日、安全・安心の確保に貢献

水道水ができるまで

① 水源について

私たちが口にする水道水は、市町が経営する水道事業体によって水源や浄水過程の水質を厳しく管理されている「安全・安心な水」です。これから、全六回で「水道水ができるまで」の話をしていきます。

今回は、水道の水源についてお話しします。

水循環の模式図（最新地下水学　山海堂より抜粋）

私たちの周りにある水は、絶えず循環を繰り返しています。地上の水は蒸発と蒸散によって大気中に昇り、やがて凝縮し、雨となって地表に落ちてきます。地表に落ちた水は、地下水、河川、湖沼等になり、水道水源として利用されます。

地下水は、地表に降った雨の一部が地下に浸透したもので、土壌中のミネラル分（カルシウム、マグネシウム、カリウム等）を溶かしながら、長い年月をかけて地下を移動しています。その間に不純物や細菌が取り除かれるため、おいしいきれいな水ができます。

河川、湖沼などの地表水は、水道水源として最もよく使われています。その理由は、地下水と違い、水源の枯渇や地盤沈下の心配が少ないからです。ただし、地表水は、気候や天候、私たち人間の社会活動で生じる生活排水や工場排水の影響を受けやすいので、水源の汚染の程度に応じた活性炭処理やオゾン処理などの高度な浄水処理が必要となります。

このような水を「飲むことができる、安全安心な水」にするため、水道事業体は二十四時間三百六十五日、毎日検査などの監視を続けています。

当協会は、県内の水道水源を含めた水道水の検査を実施しており、正確で迅速な分析結果を提出することで、県民のみなさまの飲み水の安全性確保に貢献しています。

次回は浄水処理についてお話しします。

（分析二課　乙部　将司）

みんなの助っ人！ 環境カウンセラー

かねもと　としあき
金本　俊昭

【登録年度】
平成23年度・市民部門
【専門分野】環境教育、自然観察（植物、鳥、水生生物、昆虫、星空等）、地球環境問題
【活動エリア】
広島県内全域

子どもに自然体験の場を提供

年配向けの講座も実施

学校・公民館・団体主催事業の講師経験が年間三十～四十回という経験豊かな金本さんに、これまでの取り組みや環境カウンセラーとしての思いについて語ってもらった。

◆これまでの活動について

環境関係のボランティア活動を中心に、主に子どもを対象とした学習会の講師や、河川・磯の調査観察活動、NPOの役員の活動を行っています。中でも川や磯での生物観察を中心とした活動が多く、講師依頼の七～八割を占めています。また、地元の公民館が主催した高齢者対象の環境学習なども行っており、好評をいただいています。

◆カウンセラーになったきっかけ

定年退職後に参加した環境関係のボランティア活動で、もたちに関わり、学校や公民館などへの働きかけを行っていきたいと思うようになりました。そんな時に先輩カウンセラーの方から環境カウンセラーへの登録を勧められ、現在に至っています。

◆これから住民と一緒に取り組みたいこと

身近な自然や生きもの、そして環境を大切にする多くの子どもたちを育てるために、自然体験を通じた環境教育の場を増やし、継続して実施したいです。そのためにも、積極的に学校や公民館などに、年間を通じて複数回の体系的な自然体験を含む環境学習の実施を働きかけていきたいと思います。

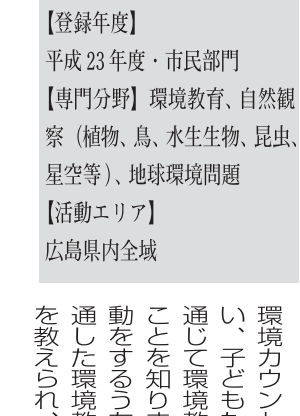
◇　◇

環境カウンセラーの方に出会い、子どもたちに自然体験を通じて環境教育を行っていることを知りました。一緒に活動をするうちに、自然体験を通した環境教育のすばらしさを教えられ、より多くの子どもたちを

自宅では、日々節電・節水を実践し、お孫さんたちに大好評の無農薬・有機肥料で野菜づくりに取り組む金本さん。今後も、より多くの人が環境保全に関心を持ってもらえるような啓発活動に期待したい。

◇　◇

環境カウンセラーへの問い合わせは、環境カウンセラーひろしま事務局【広島連塾Sus☆テラス】（〇九〇ー四〇三五ー九七九四・担当大西）まで


自然観察会で講師を行う金本さん

身近な材料試験

② 建築物の耐震診断って？

圧縮試験で強度を測定

鉄筋が錆びると劣化は進む

かつてコンクリート建築物は半永久的に使用に耐えると考えられていましたが、経年劣化、想定外の地震等で、設計されていた年数に耐えられないケースがあることがわかってきました。

そこで、ある程度の年数を経た建築物は、耐震診断調査を行い、修復や補強の必要性を判断し安全化を図ります。当協会は、公平性を保つ試験機関として、次のような試験を行っています。

圧縮強度試験は、写真のとおり、コンクリートの端面へ力を加えて強度を調べる試験です。コンクリートは年数が経つと強度が落ちるので、この試験で強度がどの程度かを確認します。

コンクリートは、年数を経るにつれてアルカリ性を失っていきます。そこで、中性化試験では、コンクリートがアルカリ性を保っているか調べるため、試薬をコンクリートへ噴霧して、赤紫色の発色の有無により判断します。

海の近くや凍結防止剤をまいたり、除塩が不十分な海砂を使用していた等、コンクリート中に塩分が多く含まれている場合に塩害が起きます。塩分含有量試験では、コンクリートを薬品に溶かして、含有塩分を調べます。

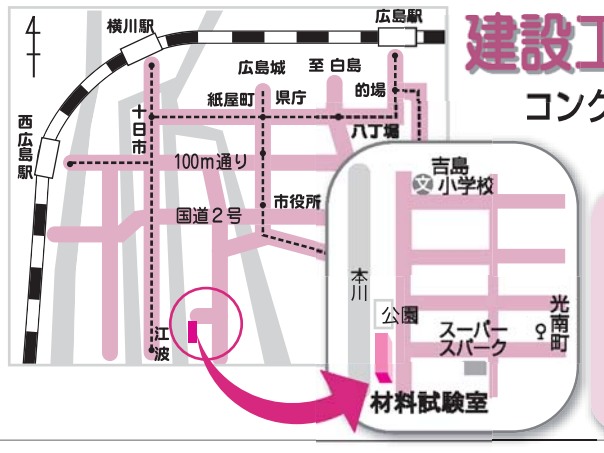
コンクリートがアルカリ性を失う、あるいは塩害が起きると、鉄筋が錆びて膨張し、ひび割れが生じて建物の強度が落ちます。さらに、ひび割れから水が浸入して、ますます劣化が進みます。

このように、コンクリート建築物は、メンテナンスを行わないとさまざまな要因で劣化が進み、最終的には倒壊へと至ります。しかし、必要な維持・管理を行うことで、寿命を延ばすことが可能です。

近年、多様な耐震関連の試験依頼があり、それに対応できるように室員の技術の向上に努めています。

（材料試験室　藤川　俊一）

抜き取りコアの圧縮試験装置1,000kN用（左）、2,000kN用（右）



建設工事材料の各種試験を受付！

コンクリート試験、骨材試験、アスファルト試験など

【受付時間】月曜日から金曜日　8:30～17：30

財団法人 広島県環境保健協会
吉島分室（材料試験室）
〒730-0825　広島市中区光南3丁目13番
TEL　(082)249-9535
FAX　(082)249-6473

医療技術最前線

1回の採血で〝がん〟リスクを予測

アミノ酸の濃度を測定、早期発見へ

健康クリニック

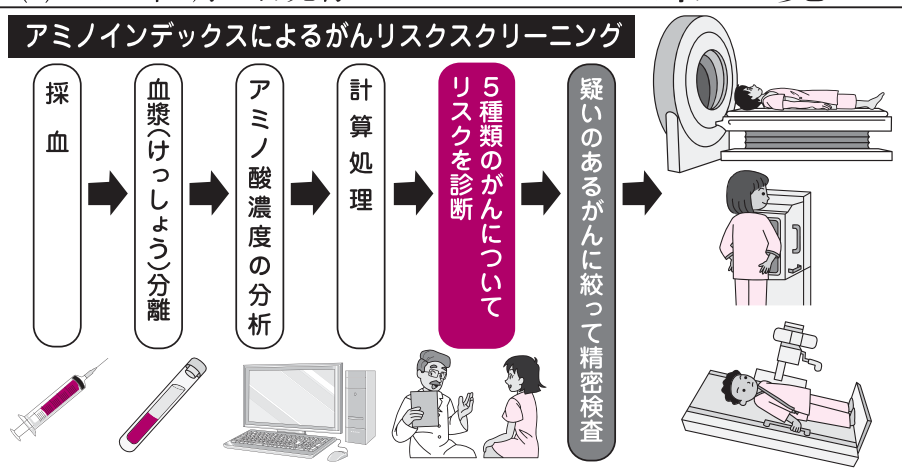
がんのリスク（現在がんに罹っている、もしくはがんになりやすい状態）を予測する新しい血液検査が注目を集めています。

一九八一年以来、日本人の死因のトップは「がん」であり、早期発見、早期治療のため、健康診断の受診が広く呼びかけられています。現在、健康診断を受診すると、X線撮影、便潜血反応、超音波検査、さまざまな腫瘍マーカーの検査などが実施されます。「がん」の部位や種類により、それぞれ検査をすることが理想ですが、受診者への身体的・経済的負担が大きいという課題もあります。

そこで、これらの課題を解決するため、複数のがんのリスクを同時に予測し、受診者の負担も少ない検査として開発されたのが「アミノインデックスがんリスクスクリーニング（AICS）」です。AICSは、身体のたんぱく質を構成する約二十種類のアミノ酸の測定・解析でがんのリスクを予測する方法で、アミノ酸のバランスの変化からがんの可能性を調べるというものです。わずか一回、五ccの血液採取で「胃がん、大腸がん、前立腺がん、肺がん、乳がん」のがんリスク評価が可能です。一度で複数のがんの検査ができるため、放射線被爆や胃カメラなどの身体的負担や、検査費用の負担が軽減できると期待されています。

当協会でも、今年度から胃がん、肺がん、大腸がん、前立腺がん、乳がんのオプション検査として、AICSを導入しました。

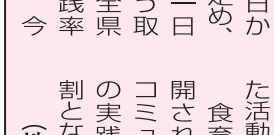
このスクリーニング検査は、がんの確定診断ではありませんが、これまで、検査が辛いとがん検診を避けてこられた方や忙しくて健康診断の時間が取れなかった方、従来の検査に負担を感じていた方は、この機会に新しい検査AICSで、自身の健康について見直してみてはいかがでしょうか。



六月は食育月間です

「食育基本法」が制定され、今年度で七年目。〝食〟が人の心身形成に深く関わるものとして、各地で啓発活動が活発になってきて久しい。「食育」という言葉が耳慣れてきたと感じる人も多いだろう。

六月は食育月間である。食育推進のため、国、県・市町などの地方公共団体、関係団体などが協力し、さまざまな催しが開かれる。内閣府の調査によると、「主食・主菜・副菜をバランスよく摂っている人の割合」は平成二十一年度の六十六・六%から七十・三%と増加した。しかし、一方で、「食育に関心を持っている人の割合」は七十・五%と、計画目標の九十%に達成していない状況である。（ともに平成二十二年十二月、内閣府調べ）これらの結果からも、今後への課題が見えてきたといえる。



「周知」から「実践」へ

地域での取り組みが重要

国では、食育推進計画（平成十八年度～二十二年度）の第二次計画（二十七年度までの五年間）を定めた。特に第二次計画では、前五年を踏まえて〝「周知」から「実践」へ〟というコンセプトのもと、次の三つの重点課題に対する働きかけを推進する。（下表参照）

私たちの生活には欠かすことのできない「食」。前述の重点課題にもあるとおり、成長盛りの子どもはもちろん、大人も食事に対する意識を持ち、食を選ぶ力を身に付け健康維持に努めることが望ましい。

こうした問題意識のもと、公衆衛生推進協議会では、平成二十三年度から全県共通事業重点メニューとして「一万人の食チェック事業」を展開している。日頃から公衆衛生の向上に取り組む推進委員自ら、六月十九日からの一週間を強化期間と定め、食生活の見直しとして一日の食品数を数えるという取り組みだ。昨年度は、全県で千四百五十七人（実践率十六%）が取り組んだ。今年度はさらに実践者を呼びかけ、全県的な食育に向けた活動として拡充させたい。

食育が国民運動として展開される今、地方自治体やコミュニティにおける食育の実践がますます重要な役割となるだろう。

（地域支援課　山形妙子）

【食育の推進に関する重点課題】

① 生涯にわたるライフステージに応じた間断ない食育の推進
② 生活習慣病の予防および改善につながる食育の推進
③ 家庭における共食を通じた子どもへの食育の推進

内閣府「第２次食育推進基本計画」より

血液検査から読む病気の予防

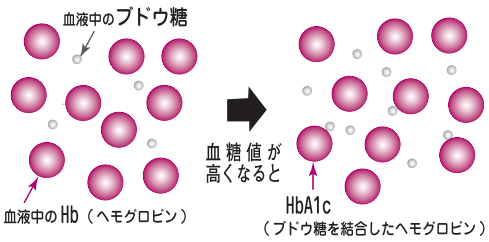
❷ 血糖値を知ろう

糖尿病をチェックしてみよう

低い場合も注意が必要

血糖とは血液中に含まれるブドウ糖のことで、その濃度を血糖値といいます。血糖値が高いと糖尿病や心筋梗塞、メタボリックシンドロームを引き起こす原因となるのはご存知の方も多いでしょう。では逆に、血糖値が低い場合はどうでしょうか。実は血糖低値の裏にも重大な疾患が隠れていることがあります。例えば、インスリン分泌異常、肝硬変や肝癌、インスリン自己免疫症候群など、これらは全て治療が必要な疾患です。血糖値が低い場合にも、注意が必要であることをぜひ覚えておいてください。

血糖値の測定には、いくつかの方法があります。代表的な４つの検査を紹介します



高血糖が続くと、赤血球中に含まれるヘモグロビンにブドウ糖が結合したHbA1cの値が高くなる

【健康診断・人間ドックなどでふるい分けのために実施】

①空腹時血糖検査（食事制限が必要）
②HbA1c（ブドウ糖が結合したヘモグロビン）

【上記の検査で異常が認められた場合に実施】

③経口ブドウ糖負荷試験（食事制限が必要）
④随時血糖検査

また、この４月からHbA1cの基準値が変更されました。今まで日本国内で採用していた基準HbA1c(JDS)と、多くの国で採用されている国際基準HbA1c(NGSP)に差があるため、わが国でも国際基準を採用する方向になりました。従来のHbA1c(JDS)では6.1%以上を「糖尿病の疑い」としていたのに対し、HbA1c(NGSP)では6.5%以上とされます。HbA1c(JDS)もHbA1c(NGSP)も本質的に意味するものは変わりません。決して診断基準や治療の目標値が緩くなるわけではないのです。ご自身の血液検査の結果を見る際は注意してください。

慢性的な高血糖を改善・予防するには、適度な運動やバランスの良い食事を摂ることです。どちらも日常的に続けることが大切ですから、まずは無理をしない程度に努力してみましょう。また、必要に応じて専門医を受診し、適切な治療を受けましょう。

（臨床検査課　豊田　祐佳吏）

最先端のオプション検査のご案内

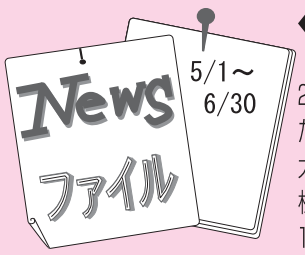
肥満遺伝子検査

～DNAから考える肥満解消の新時代～

同じものを食べても太りやすい人とそうでない人がいます。これは一人ひとりの「体質」や「遺伝子」が異なるためです。日本人に関係が深い３種類の遺伝子（DNA）を調べて、あなたの体質をチェックしてみませんか？（隠れ肥満が心配な女性にも最適な検査です）

検査料金　：　６，３００円（税込み）

【お申込は】財団法人広島県環境保健協会　健康クリニック
電話（０８２）２３２－４８５７



◆中国電力が５％の節電要請

中国電力は、５月19日、中国地方で今夏、2010年夏と比べて５％の節電を要請すると発表した。政府の対策決定を受け、需給が厳しい関西電力と九州電力に送る電力を増やす。中電が数値目標を伴う節電を求めるのは、石油ショックによる1974年以来、38年ぶり。

期間は、お盆の８月13～15日を除いた、平日の午前９時～午後８時の時間帯で７月２日～９月７日まで。電力使用がピークとなる午後１～４時は、家庭では、多くの電気を使うアイロンや電気ポットを使わないなどの省エネの取り組みが重要になる。中電は今後、家庭向けの節電の方法をホームページで紹介する。

企業向けには、大口顧客各社の状況に合わせた節電のやり方を提案する。ピーク時に節電することを条件に基本料金を割り引く契約を、より多くの企業と結ぶとしている。

中電は「10年夏と比べて2.5%分の節電はすでに定着している」と説明。５％を達成するのに新たに必要な節電は2.5%分、30万キロワット程度とみている。

◆太陽光１kW時42円　自然エネルギー価格決定

政府が７月から始める自然エネルギーの新たな普及制度で、電力会社が自然エネを買い取る価格が決まった。太陽光は１kW時あたり42円、出力20kW以上の風力は同23.1円など。買い取り期間は10～20年間。価格と期間が決まり、制度を運用する準備が整った。

近く経済産業相が正式に決定する見込み。この制度は、自然エネを一定価格で全量、長期間買い取るしくみで、自然エネの導入拡大をめざす。焦点の太陽光は１kW時40円を超え、発電事業者側の意向にほぼ沿う高値での決着となった。

経済産業省の第三者組織「調達価格等算定委員会」では、自然エネの発電会社が発電にかかる費用と適正なもうけを得られるように、買い取り価格を算出した。費用は発電の種類や出力の規模で違うため、太陽光、風力、水力、地熱、バイオマスなどの規模に応じ、価格は14区分に分けられている。

■主な自然エネルギーの買い取り価格と期間

発電の出力	価格（円／１kW時）	期間（年）
太陽光		
10kW未満	42	10
10kW以上	42	20
風力		
20kW未満	57.75	20
20kW以上	23.1	20
地熱		
1.5万kW未満	42	15
1.5万kW以上	27.3	15
中小型の水力		
200kW以上、1,000kW未満	30.45	20
1,000kW以上、3万kW未満	25.2	20
バイオマス（一般木材）		
	25.2	20

◆宮島がラムサール条約登録候補地へ

環境省は、国際的に重要な湿地を保全するラムサール条約の新たな登録候補地として、国内唯一のミヤジマトンボの生息地がある世界遺産の島・宮島（廿日市市）など９カ所を指定すると、中央環境審議会野生生物部会に報告した。７月にルーマニアで開かれる条約締約国会議に合わせて登録される見通し。決まれば中国地方では４カ所目となる。

宮島の登録区域は、瀬戸内海国立公園特別地域で、ミヤジマトンボがすむ沿岸部の湿地など142ヘクタール。「絶滅のおそれのある種や群集を支えている湿地」などの基準に該当するなどの登録条件を満たした。登録後は、ミヤジマトンボの生育環境をさらに改善していく。

ミヤジマトンボは、環境省のレッドデータブックで絶滅危惧Ⅰ類。満潮時に海水が入る汽水性湿地に生息し、個体数は成虫で300匹前後とみられる。1990年代以降の大型台風で湿地が砂に埋もれるなどしたため、国、広島県、地元の研究者たちが協議会を設立して、地道な保護活動に取り組んできた。

◆世界の４人に１人高血圧、死因の６割が生活習慣病

世界保健機関（WHO）は、世界のほぼ４人に１人が高血圧で、死因の63%が生活習慣病だとする報告書を発表した。人口が増えて寿命も延び、生活が豊かになった新興国や途上国でも、生活習慣病が増えた。

加盟する194カ国の指標を集めた「世界保健統計2012」で、今回初めて、高血圧と糖尿の人の割合を調べた。世界平均では、血圧が140以上の人の割合は男性29.2%、女性24.8%。世界で一般的に高血糖とされる人の割合は、男性9.8%、女性9.2%だった。寿命は1990年の64歳から09年は68歳に延びた。

08年の推定死者5,700万人のうち、６割強の3,600万人が、生活習慣病である「伝染しない病気」だった。最も多いのは48%の心臓血管疾患で、がん21%、慢性呼吸器疾患12%と続く。それらの原因別では、高血圧が13%で最多。喫煙が９%、高血糖が６%、運動不足が６%、肥満が５%だった。

◆進む少子化　31年連続で減少

総務省がまとめた人口推計（４月１日現在）によると、15歳未満の子どもの数は前年比12万人減の1,665万人と、31年連続で減少した。比較可能な推計があるのは1950年以降で、1988年以降から最少記録の更新が続いている。総人口に占める割合は38年連続で低下し、過去最低の13.0%だった。

内訳は、男の子が852万人、女の子が812万人（四捨五入のため合計は総数と一致しない）。３歳ごとの比較では、12～14歳が最多の357万人で、年齢層が下がるほど減少し、未就学児のうち０～２歳は316万人で最も少ない。厚生労働省の推計で、2011年の出生数は過去最少を更新しており、少子化傾向が強まっている。

（文責：地域活動支援センター）

３つのテーマでリニューアル
体験型の専門研修を開催

「専門研修」は、公衆衛生推進委員の力量形成および専門的な知識・技術の習得の場として環保協が開催するもので、平成二十四年度はテーマ・内容を刷新して実施する。

今年度実施するテーマは「基礎研修の開き方コース」「企画づくりコース」「広報・ツールづくりコース」。六月中旬～九月下旬にかけて開催する。

「基礎研修の開き方コース」では、公衆衛生推進手帖を活用して各地域で独自に基礎研修が開催できるよう、パワーポイントなどの教材や研修のシナリオづくりを行う予定。

「企画づくりコース」は、平成二十年度以来、四年ぶりに開催する一泊二日の研修。「こんな活動がしたい、こんなことをやってみたい」という思いを「事業」という形にまとめていく工程を、体験を通して学ぶ。

「広報・ツールづくりコース」では、公衛協のPRを行うツールの活用を通して、広報の目的や意義、内容を学ぶ。

いずれも、実践活動を行う際の基礎的な知識・技術を専門的に習得できるよう工夫している。この機会に、ぜひ参加して、公衛協活動の活性化を図ってほしい。

（地域活動支援センター）

専門研修のスケージュール	開催日	専門研修の事業名（開催場所）
	6月14日（木）	基礎研修の開き方コース（広島県公衆衛生会館）
	6月15日（金）	基礎研修の開き方コース（環保協東部支所）
	7月24日（火） 7月25日（水）	企画づくりコース（安芸太田町　ごりんの宿　星の里） ※１泊２日合宿研修
	9月27日（木）	広報・ツールづくりコース（東広島市広島テクノプラザ）
	9月28日（金）	広報・ツールづくりコース（環保協東部支所）

第51回環境保健夏季大学

【日　時】平成24年7月12日（木）～13日（金）
1日目：開始13：00～　2日目：終了15：00

【場　所】グリーンピアせとうち
（呉市安浦町三津口326-48　TEL 0823-84-6624）

【対象者】①市町公衛協役員及び事務局担当者で、これまでの夏季大学への参加が５回未満の方。※参加者同士の交流促進のため
②市町公衛協事務局活性化事業を実施する公衛協の事務局員および機能リーダー
③研修内容を考慮し、適任と思われる公衛協関係者の方

【プログラム】
〈１日目〉全員参加の活動紹介＆ポスターセッション
〈２日目〉分科会「全県共通重点メニューを知ろう・学ぼう・体験しよう」
講演「バランス良い野菜生活がつくる豊かな人生」
講師：花井　綾美氏（シニア野菜ソムリエ・広島県健康大使）
一万人の食チェック事業お楽しみ抽選会
修了式

BESTチェックアンケート集計報告
〝速報〟エコ・食チェック事業について

平成二十三年十二月、県内一万人の公衛協推進委員を対象にアンケートを実施したBESTチェック事業。平成二十四年四月末の時点で、二千四百九十一件と、およそ二十五％の推進委員から回答をいただいた。重点メニューの参加状況について報告する。

『一万人のエコチェック事業』は、「参加した」が千九十一件あり、実施二年目となって取り組みの広がりを確認できた。マニュアルや記入カードの使いやすさは、おおむね高評価をいただいた。また、この事業に参加した方のおよそ十五％が公衆衛生推進手帖の環境家計簿機能を使用していること分かった。

『一万人の食チェック事業』は、「参加した」が六百四十三件。取り組み初年度だったため参加者は少ないが、事業の存在は認識されていることが確認できた。マニュアルや記入カードの使いやすさは高評価をいただいた。

一方、両事業ともに、「取り組み自体を知らない」という回答もあった。

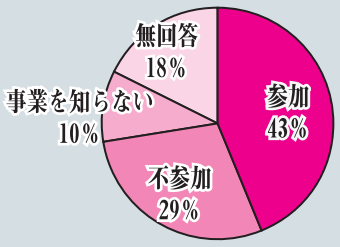
今回の結果を踏まえ、地道な取り組みであるこれらのチェック事業の進め方を今後も検討していく。

BESTチェックアンケートの結果は次号以降も逐次報告する。

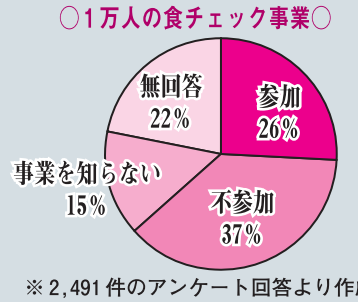
（地域活動支援センター）

～　参加状況　～

○1万人のエコチェック事業○



○1万人の食チェック事業○

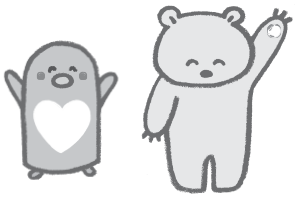


※2,491件のアンケート回答より作成

健康感謝募金
～地区衛生組織活動資金募集～

市町別一覧表
（平成24年5月末現在）

健康感謝募金総額
6,606,523円



市町名	募金額（円）	達成率
呉市	0	0.0
府中町	724,700	67.9
海田町	800,000	135.4
熊野町	0	0.0
坂町	0	0.0
江田島市	0	0.0
竹原市	0	0.0
大崎上島町	0	0.0
大竹市	1,615,950	257.8
廿日市市	1,945,450	125.8
廿日市市佐伯	0	0.0
廿日市市吉和	0	0.0
廿日市市大野	0	0.0
廿日市市宮島	205,700	475.1
安芸太田町	0	0.0
北広島町	159,200	39.0
安芸高田市	0	0.0

市町名	募金額（円）	達成率
東広島市	0	0.0
三原市	1,089,600	50.7
世羅町	0	0.0
尾道市	0	0.0
福山市	0	0.0
府中市	0	0.0
神石高原町	0	0.0
三次市	0	0.0
庄原市	0	0.0
その他	65,923	
合計	6,606,523	18.5

※この表は、5月末までに市町公衛協事務局から募金委員会に振込みのあった実績額を示しています。

健康感謝募金は、昭和35年から実施し、平成24年度で53回目を迎えます。集まった募金は、募金委員会によって適正に配分され、各市町公衛協の活動資金として地域社会に役立てられています。